



《 事業者及び施設の概要 》

事業者の名称	野田市
事業者の所在地	千葉県野田市鶴奉7番地の1
事業者代表者氏名	野田市長 根本 崇
事業の種類	障害福祉サービス 生活介護（指定生活介護事業所）
管理者氏名	園長 大塚 正巳
開設年月日	昭和61年4月
定員	40名
サービス提供時間	月～金曜日の午前9：50～午後3：25
事業所の目的	野田市立こぶし園は、18歳以上の障がい者を通所させて、地域で暮らす障がい者の自立及び社会活動への参加の促進を図ることを目的とする。

《 運営方針 》

1. 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な支援及び訓練を適切に行う。
2. 利用者の意思及び人格、自己決定や自己選択を尊重し、常にその者の立場に立って、支援を提供する。
3. 事業所は、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、他の関係機関等や保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携を図るように努める。
4. 利用者の自己実現を望み、共に生きる施設作りを進める。
5. 職員は常に問題意識を持ち、自己研鑽を重ね、利用者が満足するサービスを提供する。
6. 支援に当たっては、必要な情報の公開を進め、個別支援計画に基づき実践していく。
7. 事業所は、その提供する指定施設支援の質の評価を行い、常にその改善を図る。

《 こぶし園のあゆみ 》

昭和61年4月	・野田市立こぶし園開園・こぶし園入園式(17名) ・こぶし園保護者会発足第一回総会
5月	・こぶし園だより「こぶし」第1号発行
6月	・親の会主催「開園を祝う会」・こぶし園だより「大樹」第1号発行
7月	・コンクリート作業開始
9月	・作業所用費用として120万円寄付（手をつなぐ親の会より）
10月	・第一回こぶし園運動会
昭和62年1月	・織物作業開始
2月	・しいたけ植菌作業開始
3月	・コーヒーハウス「つくしんぼ」に職場実習
4月	・昭和62年度入園式（初めての新入園生を迎える）
8月	・第一回園内キャンプ
9月	・親子一泊研修旅行
10月	・第一回四施設合同大運動会
12月	・第一回買い物学習・食事会
昭和63年2月	・第一回あすなる職業指導所職場実習
9月	・第一回野田市総合公園草取職場実習
平成元年1月	・コンクリート作業棟建設(床面積64㎡)
11月	・陶芸用作業所建設(床面積9.45㎡)
平成2年2月	・陶芸用窯場間仕切工事(床面積27㎡)
7月	・5周年実行委員会
11月	・こぶし園開園5周年事業式典・5周年記念誌完成
12月	・特別養護老人ホーム福寿園職場実習
平成3年2月	・第一回四施設職員合同研修会
4月	・農耕作業用畑(約660㎡)借用(近隣地主深井氏より)
平成4年3月	・第一回こぶし園亀のこマラソン大会
4月	・第一回給料
10月	・第一回こぶし園収穫祭
平成5年2月	・「こぶし園親父の会」発足
7月	・農耕作業用トラクター寄付(親父の会)
平成6年9月	・園だより「大樹」100号発行
平成8年5月	・第一回ST法音楽療法実践
11月	・こぶし園開園10周年記念式典
平成9年7月	・利用者食事移動式テーブル(32台)寄付(松浦建設株式会社より)
平成10年4月	・ワゴン車寄付(全労災千葉県本部より)
11月	・第一回こぶし園祭開催
平成11年4月	・コンクリート作業休止 木工作业開始
平成12年10月	・行幸用提灯(80個)・テレビ付カラオケセット・機能訓練用健康器具(2台)寄付(保護者会より)
平成13年10月	・ベンチ一式(6台)寄付(保護者会・親父の会より)
平成15年4月	・措置制度から利用契約制度に改正・セレクトタイム導入
7月	・乗馬フィットネス機器・デジタル体重計寄付(ホンダ四輪販売労働組合より)
8月	・物置倉庫改修工事(床面積18.25㎡)
平成16年1月	・あすなる宿泊訓練開始
4月	・関連施設(こぶし園・あおい空・あすなる)送迎バス運行開始
11月	・「織物」作業を「手芸」作業に変更・「和陶芸」作業を「手びねり」に改称
平成17年8月	・目的別班編成導入
12月	・施設合同研修会(職員・保護者・関係団体)の開催
平成18年4月	・東部地区マラソン大会参加
7月	・障害者自立支援法施行
11月	・利用者用イス寄付(川口氏より)・カブトムシを活用した地域交流
平成20年3月	・こぶし園創立20周年記念式典開催・スノーブレン機器一式(保護者会より)
平成24年4月	・創立20周年記念誌発行 ・多目的室完成 ・指定生活介護事業所へ移行

